

PRIMERGY TX100 S2 モニタレス運用対応タイプ

はじめにお読みください



使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本サーバに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本サーバに添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本サーバをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

作業を始める前に

最新情報について

マニュアルの最新情報は以下のURLをご覧ください。また、留意事項などが記載されている場合、あわせてご確認ください。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html>

設計構築に必要な情報について

サーバの導入・システム構築などの設計構築に必要な情報については、「PRIMERGY」ページの「技術情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>)をご覧ください。

用語について

マニュアルで使用されている用語「ヘッドレス」および「Headless」は、「モニタレス運用対応タイプ」を意味します。

梱包物を確認する

『梱包物一覧』をご覧になり、梱包物がすべてそろっているか確認してください。

『安全上の注意およびその他の重要情報』を確認する

添付の『安全上の注意およびその他の重要情報』には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

サポート&サービス

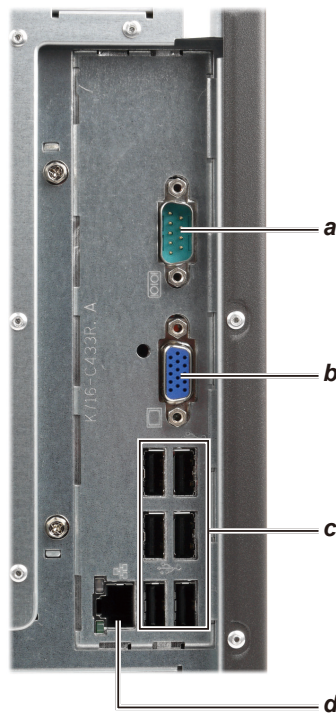
PRIMERGYに関する最新の情報や、製品・サービスに関するお問い合わせ、修理などにつきましては、添付の『サポート&サービス』をご覧ください。

外部装置用のコネクタ

外部装置用のコネクタは、サーバ本体の前面と背面にあります。コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

i 接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア（例：ドライバなど）が必要になります。詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。

● サーバ背面



● サーバ前面



- a シリアルコネクタ (COM1)
- b ビデオコネクタ
- c USBコネクタ (6)
- d LANコネクタ (LAN1)
- e USBコネクタ (2)

各部名称とランプ

● サーバ前面



- a 光ディスク取り出しボタン
- b 光ディスクアクセス表示ランプ
- c ハードディスクアクセス表示ランプ
- d 電源表示ランプ／電源ボタン

● サーバ背面



- e LAN転送速度表示ランプ
- f LANアクセス表示ランプ

ランプの状態について

前面	背面	ランプ名称	色	状態	意味
b		光ディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯	光ディスクにアクセスしています。
c		ハードディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯	内蔵ハードディスクユニットにアクセスしています。
d		電源表示ランプ	緑	点灯	サーバの電源が入っています。
	e	LAN転送速度表示ランプ	黄	点灯	1Gbpsでコネクションを確立中です。
			緑	点灯	100Mbpsでコネクションを確立中です。
				消灯	10Mbpsでコネクションを確立中です。
	f	LANアクセス表示ランプ	緑	点灯	リンクを確立中です。
				消灯	リンクが確立されていません。
				点滅	転送中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている『オペレーティングマニュアル』をご覧ください。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

電源ケーブルの接続

- ・本サーバの電源ユニットは固定されています。
- ・主電源の電圧は、100V～240Vの範囲でサーバが自動調整します。

1. 電源ケーブルを、サーバ背面の電源コネクタに接続します。
2. 主電源プラグを、電源コンセントに接続します。

サイドカバーの取り外し



1. ロックレバーを矢印方向に開き、サイドカバーのロックを解除します。



2. サイドカバーを外側に向かって開きます。
3. サイドカバーを持ち上げて取り外します。

- ・サイドカバーを取り付ける場合は、上記とは逆の手順で行います。

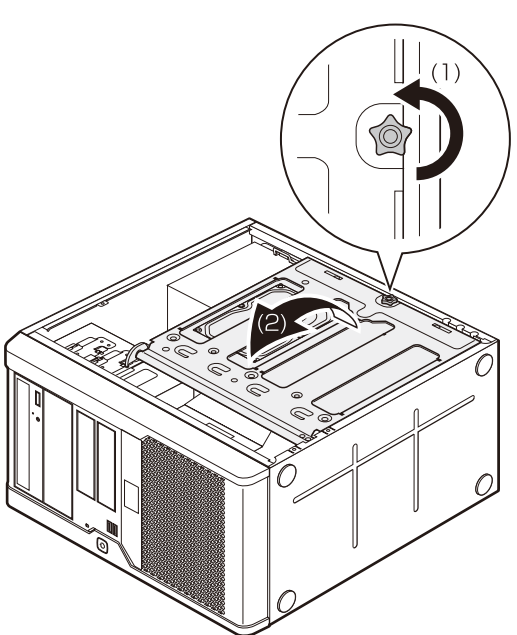
内蔵オプション取り付け時の注意

- ・内蔵ハードディスクユニットの取り付け方については、次項の「内蔵ハードディスクユニットの取り付け」をご覧ください。
- ・内蔵ハードディスクユニット以外の内蔵オプションを別途ご購入された場合は、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オプションガイド」に記載の手順に従って取り付けてください。
- ・モニタレス運用対応タイプをご購入後に他のオプションを搭載した場合は、モニタレス運用非対応となります。
- ・本サーバに添付の「Windows Server 2008 R2 Foundation モニタレス運用対応タイプ Maintenance & Recovery DVD」によりリカバリを行う際には、ハードウェア構成をご購入時の状態に戻す必要があります。
- ・内蔵オプションを取り付けるには、ハードディスクケージを開く必要があります。ハードディスクケージの開き方については、次項の「内蔵ハードディスクユニットの取り付け」をご覧ください。
- ・なお、ハードディスクケージを開く際、ケージのヒンジ部が硬くなり開きづらい場合がありますが、故障ではありません。そのまま注意しながら、力をかけてハードディスクケージを開いてください。

内蔵ハードディスクユニットの取り付け

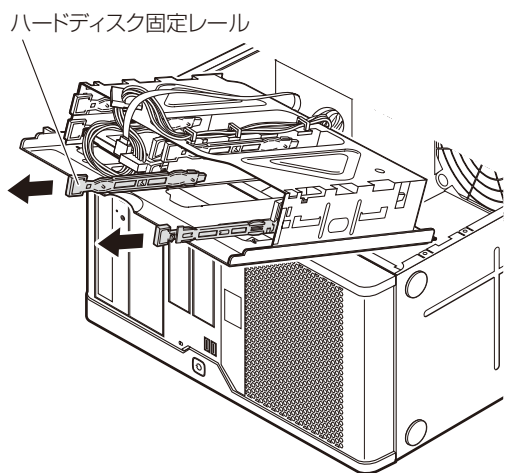
- ・本サーバには、3.5インチタイプの内蔵ハードディスクユニットを最大4台まで取り付けることができます。

1. サイドカバーを取り外したサーバ本体を、横置きにします。
2. サーバ本体の金属部分に触れて、人体の静電気を放電します。
3. ハードディスクケージを開きます。

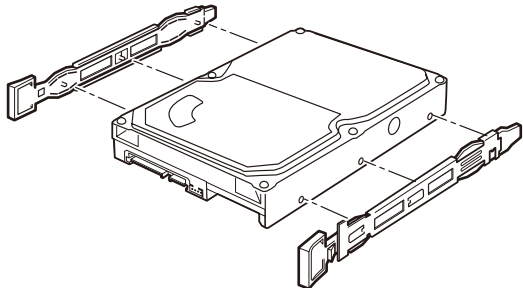


- ・内蔵ハードディスクユニットを取り付けるには、ハードディスクケージを開く必要があります。
- ・ハードディスクケージを開く際、ケージのヒンジ部が硬くなり開きづらい場合がありますが、故障ではありません。
- ・そのまま注意しながら、力をかけてハードディスクケージを開いてください。

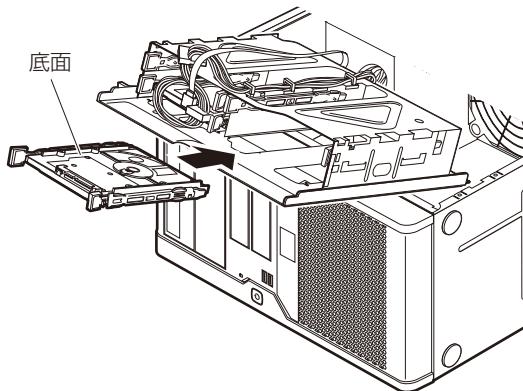
4. 内蔵ハードディスクユニットを取り付けるベイから、ハードディスク固定レールを取り外します。



5. 内蔵ハードディスクユニットに、ハードディスク固定レールを取り付けます。



6. 内蔵ハードディスクベイに、内蔵ハードディスクユニットを取り付けます。

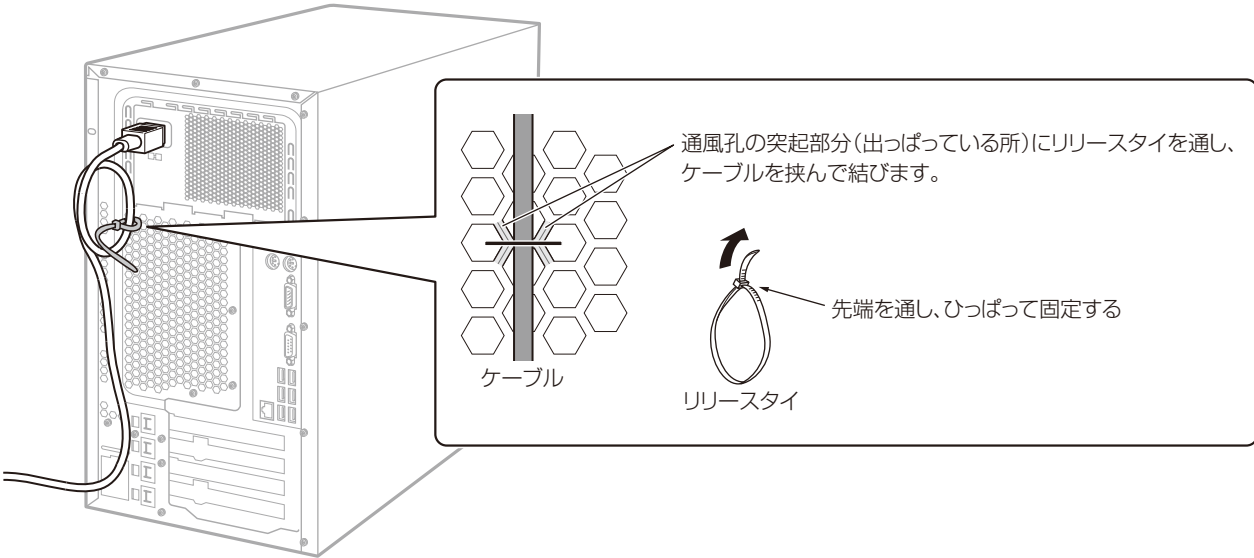


7. 内蔵ハードディスクケーブル(SATAケーブルまたはSASケーブル)、電源ケーブルを接続します。
8. ハードディスクケージを元の位置に戻し、ネジで固定します。
9. サーバ本体を縦置きにして、サイドカバーを取り付けます。

電源ケーブルの固定

電源ケーブルを本体に接続した後、サーバ本体を前面に引き出す際に電源ケーブルが抜け落ちることを防止するために、サーバ本体背面の通風孔に添付のリリースタイを通して、ケーブルに余裕をもたせて固定してください。

なお、本体の電源ケーブルを抜くときは、必ず本体側の電源コネクタを抜くようにしてください。



初回操作

- ・初回操作における設定など、詳しくは、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

1: ネットワーク接続の確認

Microsoft Windows OSが稼働しているクライアントコンピュータと、本サーバが同一ネットワーク上に接続されていることを確認してください。

なお、本サーバのLAN接続は、オンボードLANコネクタに接続されていることを確認してください。

2: サーバの電源投入

1. クライアントコンピュータが起動していない場合は、クライアントコンピュータの電源を入れます。
2. サーバの電源ボタンを押します。
3. 起動処理が終了するまで、しばらく待ちます。

起動処理が終了すると、サーバのDVDトレイが自動で開きます。DVDトレイを開けてください。

- ・初回起動処理には、20分ほどかかる場合があります。

3: リモートデスクトップ接続の確立

1. クライアントコンピュータのIPアドレスを設定します。
- ・DHCPが有効の場合
- IPアドレスは自動で割り振られます。
- ・DHCPが無効の場合
- IPアドレスを以下のとおりを設定します。

IPアドレス	192.168.10.x
サブネットマスク	255.255.255.0

IPアドレスは、サーバのデフォルトIPアドレス(192.168.10.10)以外に設定してください。

2. クライアントコンピュータで、以下のように操作します。
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「名前」に「mstsc」と入力して、「OK」をクリックします。

「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。

3. ネットワーク上でDHCPが有効かどうかにより、「コンピュータ」に以下のどちらかを入力します。

- DHCPが有効の場合

サーバのデフォルトコンピュータ名を入力します。

デフォルトコンピュータ名	HEADLESS
--------------	----------

- DHCPが無効の場合
サーバのデフォルト IP アドレスを入力します。

デフォルトIPアドレス	192.168.10.10
-------------	---------------

4. 「接続」をクリックします。
5. 「Administrator」アイコンをクリックし、以下のパスワードを入力します。

デフォルトユーザ名	Administrator
デフォルトパスワード	TX100S2preinstalled

6. 【Enter】キーを押し、ログインします。

「初期構成タスク」画面が表示されます。

4: OSインストールの完了

「初期構成タスク」画面で、次の設定を行います。

■ ネットワーク構成

ネットワーク上でDHCPが有効の場合、DHCPによって割り当てられたIPアドレスにより、問題なく動作している場合は必要ありません。

固定IPアドレスを設定する場合は、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」に従って、TCP/IPネットワークを設定してください。

■ コンピュータ名とドメインの入力

1. 「コンピューター情報の提供」の「コンピューター名とドメインの入力」をクリックします。
2. 「コンピューター名」タブで必要に応じてコンピューターの説明を追加し、「変更」をクリックします。
3. デフォルトコンピュータ名を任意のコンピュータ名に変更します。
4. 「所属するグループ」で、デフォルトのワークグループ名を変更、または確認します。
5. サーバをドメインに追加するには、「ドメイン」を選択して希望のドメイン名を入力します。
6. 「OK」をクリックします。